

透水ポラコン舗装

水は都市内の熱を和らげ、水辺景観により心の安らぎを与えるなど、人の生活環境全般に重要な役割を果たしています。透水ポラコン舗装ならば、降雨の表面排水の制御、植生、地中生態の改善、地下水の涵養など、本来自然が持っている水環境に近づける効果が得られます。

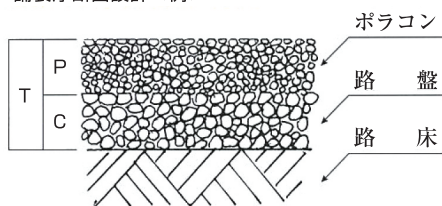


特長

- 透水性** 舗装体は $1 \times 10^{-1} \text{cm/s}$ 以上の透水係数を持ち、全体に連続性空隙を形成しているため、降雨水を舗装内に貯留し、路床への浸透を促進させる働きをします。
- 耐久性** 使用する骨材の空隙を一定の範囲とすることにより、曲げ強度 $2.5/\text{mm}^2$ 以上を確保して、軽交通道路、公共施設、建築外構としても適用できます。
- 耐候性** 強度とともに耐摩擦性があり、また耐候性にも優れ、舗装表面が夏期の日中に到達する最高温度(約 60°C)においても、アスファルト舗装のようにアスファルト溶解による目詰まりが生じません。
- 景観性** セメント系の白舗装であることから、用途に応じて、洗い出し、着色工法が選択可能です。

設計

舗装厚断面設計<例>



※参考文献

(社)日本道路建設業協会編:「透水性舗装ハンドブック」

路床の設計CBR	路床の設計CBR		
	3	4	5
荷重条件 用途			
歩行者及び 自転車のための歩道、 自動車道、 乗用車専用駐車場	P=80	P=80	P=80
	C=120	C=90	C=70
	T=200	T=170	T=150
定常的に大型車が走行 しない歩行者系道路、 駐車場、建築外構軽舗装 (区分1※)	P=100	P=100	P=100
	C=150	C=100	C=100
	T=250	T=200	T=200
大型車の走行が 見込まれる歩行者系道路、 駐車場、建築外構軽舗装 (区分2※)	P=150	P=150	P=150
	C=200	C=150	C=100
	T=350	T=300	T=250

※区分の目安 区分1:大型車交通量10(台/日・1方向)未満
区分2:大型車交通量10以上~55(台/日・1方向)未満

01

ボックス
カルバート

02

コンクリート
床版

03

擁壁

04

道路用製品
VS側溝

05

道路用製品
側溝

06

道路用製品
境界ブロック

07

樹

08

ポラコン製品

09

名古屋市製品

10

その他製品

11

会社概要